

平成30年度

三沢市教育委員会
会 議 録

4 月 定 例 会

三沢市教育委員会 平成30年度 4月定例会

1 日 時 平成30年4月12日(木) 13時55分 開会
14時37分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員

教 育 長	富 田 敦
委 員	宮 野 楠 見
委 員	相 沢 靖 恵
委 員	立 花 肇
委 員	黒 沢 のぞみ

4 出席職員

教育部長	山 本 智香子
教育総務課 課長	高 橋 徳 孝
教育総務課 課長補佐	種 市 明 人
学務課 課長	附 田 経 行
学校教育課 課長補佐	長 末 道 夫
生涯学習課 課長	遠 藤 恵 介
生涯学習課 課長補佐兼文化振興係長	池 田 修
学校給食センター 所長	谷 坂 昭 博
教育総務課 課長補佐(書記)	種 市 剛 大
教育総務課 教育総務係長	鳴 海 拓

5 傍聴者 1名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 平成30年度 4月定例会 議事日程

第1 開会

第2 会議録署名委員の指名

第3 会期の決定

第4 前回会議録の承認

第5 報告案件

報告第1号 平成30年度予算の概要及び事務分掌について

第6 その他

第7 閉会

開会 13時55分

○日程第1 開会

■富田教育長

出席委員は定足数に達しておりますので、委員会は成立いたします。

ただ今から、平成30年度4月定例教育委員会を開会いたします。

お手元に配布してある議事日程により、会議を進めていきたいと思っております。

○日程第2 会議録署名委員の指名

■富田教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、宮野委員と相沢委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

○日程第3 会期の決定

■富田教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日12日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第4 前回会議録の承認

■富田教育長

前回会議録の承認についてお諮りいたします。

前回の会議録は、お手もとに配布しております。

お手元の会議録のとおり承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議がありませんので、承認といたします。

○日程第5 報告案件

■富田教育長

次に、報告案件に移ります。

報告第1号 平成30年度予算の概要及び事務分掌を議題といたします。

事務局より説明を願います。

■教育部長

報告第1号 平成30年度予算の概要及び事務分掌についてご説明いたしますが、予算の概要については、担当課長から説明させますので、ご了承願います。

まず初めに、資料の4ページをお開きください。

三沢市教育大綱につきましては、去る2月26日に、三沢市総合教育会議が開催されまして、平成30年度から平成34年度までを期間とした新たな大綱が制定されました。

その教育大綱では、「確かな学力」の育成、「豊かな心」の育成、「健康で活力ある体」の育成の3つが、大綱の育成方針とされております。

次に、平成30年度の三沢市教育施策の方針といたしまして、三沢市教育振興基本計画のスローガン「夢の実現」に向けて、三沢市教育施策の8つの方針により、当市の教育施策を推進して参ります。

次の5ページからは、教育委員会事務局の機構に基づき、各課の組織体制及び事務分掌となっております。

18ページ、19ページは、緊急時連絡先及び学校関係電話番号の一覧を添付してありま

すので、後ほどご覧いただきたいと存じます。

それでは、平成30年度当初予算の主なるものにつきまして、教育総務課より順にご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

■教育総務課長

資料の1ページをお開き願います。

NO. 1、学校図書備品購入につきましては、小学校に260万円、中学校に250万円、予算合計は510万円となり、昨年度と同額の予算となっております。

NO. 2、吹奏楽部活動用楽器購入につきましては、第二中学校の吹奏楽部の楽器を購入するものであります。予算額は322万3千円となっております。

NO. 3、小中学校屋外便所新築事業につきましては、今年度は、堀口中学校に建設するものであります。予算額は、1751万2千円となっております。

NO. 4、小中学校暖房設備改修事業につきましては、今年度は、古間木小学校の設計と三川目小学校の工事となっております。予算額は、1億318万9千円となっており、防衛省の補助事業で実施します。

NO. 5、小中学校屋内運動場天井等落下防止対策事業につきましては、今年度は上久保小学校と堀口中学校の工事となっております。予算額は、1億2956万5千円となっており、文部科学省の補助事業で実施します。こちらは、昨年度の予算の繰越事業となっております。

NO. 6、小学校営繕事業であります。主なるものとしたしましては、木崎野小学校照明器具交換工事ですが、これは、1、2年生の6教室をLED化するものでございます。次に、木崎野小学校防球ネット新設工事ですが、これは、校門側の駐車場へのボール等の飛来を防止するため設置するものであります。次に、第五中学校立入防止柵改修工事ですが、こちらは、校舎北側敷地端部にありますフェンス(防球フェ

ンス)ですが、老朽化していることから更新するものであります。小中学校営繕事業の予算としては、1714万3千円となっております。

NO. 7、小中学校教育用パソコン購入事業につきましては、今年度は、古間木小学校、三川目小学校、おおぞら小学校に整備するものであります。予算額は、2355万3千円となっており、防衛省事業で実施いたします。教育総務課は以上でございます。

■学務課長

続きまして学務課です。

NO. 8、継続事業で、特別支援教育支援員についてです。三沢市内の小中学校の通常学級に在籍するLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)及び高機能自閉症の児童生徒並びに介助を必要とする児童生徒等の学校生活を援助するために特別支援教育支援員を配置するものです。今年度は49名の配置となっております。予算に関しては、4177万8千円です。前年度対比では、555万2千円の増となっております。この増の要因は、支援員の配置の増員によるものです。

続きまして、NO. 9、学習支援員の配置です。三沢市内の小中学校に在籍する児童生徒の学習効果を高めるために学習指導を補助する学習支援員を配置するものです。今年度は6名の配置となっております。予算は615万2千円となっており、前年度対比では97万5千円の増となっております。こちらも人員の増によるものです。学務課は以上であります。

■学校教育課長補佐

学校教育課担当のNO. 10からNO. 17まで説明をいたします。

NO. 10の総合的学習推進事業です。国際理解教育の講師派遣費、小学6年生を対象としたゆめ実現推進事業、いわゆるゆめチャレ教室、調べもの学習の教材として平成29年度から

開始した「新聞購読料」が主なものです。当初予算は、482万4千円で、前年度と比較して36万3千円の増となっております。増額は、夢実現推進事業の会場として、例年使用しております公会堂が、改修工事で使用できず、また、国際交流スポーツセンターがパラリンピックに伴うカナダ選手団受け入れに伴う調整の関係で使用できない見通しとのことで、民間会場の「つたや」を借りて実施するための費用が主な理由となっております。

NO. 11です。外国青年招致事業でございます。中学校の外国語指導助手ALTの配置や英会話力向上や異文化理解のための小学校対象の国際交流サロンの実施が主な内容となっております。当初予算は前年度から100万2千円減の780万7千円となっております。減額はALT2名のうち1名が都合により退職いたしましたして、その補充については、国の事業実施上の規約から7月下旬でなければ補充できないということでしたので、その間、1名分の報酬が支払われないことによるものです。

NO. 12、英語教育推進事業です。国の教育課程特例法の指定を受けて全小学校で1年生から実施している英語活動科事業実施のための英語指導助手、いわゆるAETの配置や中学生対象のイングリッシュキャンプの開催、また、中学3年生対象の英語検定料の補助が主な内容となっております。当初予算は56万9千円増額の1077万5千円となっております。増額は国の学習指導要領が改定され平成30年度から移行措置が開始されることになって、小学校全学年で実施している英語活動授業実施のために小学校全教職員に配布している英語教育指導計画書の印刷費が主な理由となっております。

NO. 13、学校教育活動支援費であります。教師の指導力向上のため、年2回「理数教育研修講座」や研修主任研修講座等の各種研修会の実施及び陸上競技大会や理科研究発表会等市

教育振興会の行事の実施、中体連出場、学校保健会等の補助金が主なものです。予算は昨年度と同額の802万3千円となっております。

NO. 14、豊かな心を育てる生徒指導活動費ですが、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーの配置、派遣、三沢市いじめ防止対策審議会開催に係る費用が主な内容でございます。当初予算は、95万8千円増の693万2千円となっております。増額理由は、心の教室相談員やスクールソーシャルワーカーなど、教育相談関係者が派遣されていない学校へ、スクールソーシャルワーカー1名を派遣するための費用となっております。これによりまして、三沢市内小中学校へ県から派遣されているスクールカウンセラーを含めると、今年度からすべての学校へ教育相談関係者が配置されることとなります。

NO. 15、教育支援・特別支援費です。小学校、中学校の障害を有する児童生徒の教育措置や調査審議や当該児童生徒に対する適正な教育支援の実施、特別支援関係の教材及び検査用消耗品等を購入するための費用です。当初予算は7万6千円減の118万9千円となっております。減額の理由は、新型の知能検査WISCIV対応の検査用具の購入が昨年度で完了したことによるものです。

NO. 16、指導費です。学校教育課配置指導主事の資質向上のため視察研修や会議等への参加や各学校へ指導助言のための指導主事派遣、教師用指導書である学校教育指導の方針と重点作成、配布、児童生徒の学力把握のための諸検査の実施が主なものでございます。当初予算は99万4千円増の892万1千円となっております。増額は、30年度から小学校で完全実施となる「特別の教科 道徳」の教師用指導書及び教師用教科書の購入のためとなっております。

NO. 17、教育相談室の設置費でございます。教育相談員2名、適応指導員3名による不

登校児童生徒の相談活動や学校復帰を目指した相談活動及び適応指導業務の実施が主な事業となっております。当初予算は8万2千円増の991万7千円となっております。増額は主に通室している児童生徒の多様な不適應の状況に応じ個に応じた学習に使用する学習教材や学習資料をプリントするための増加等によるものでございます。学校教育課は以上です。

■生涯学習課長

NO. 18からNO. 21まで、生涯学習課所管の事業について説明をいたします。

NO. 18、公会堂整備事業でございます。平成26年度から順次進められて参りまして平成30年度で大規模改修が最後となります。今年度はご案内のとおり4月1日から3月31日まで休館ということで、内部改修工事、外構改修工事、LED交換やエレベーターの更新等の予算、6億4847万円となっております。

NO. 19、平成30年度市内遺跡発掘調査事業で、野口・早稲田貝塚の発掘を引き続き継続して進めて参ります。昨日から早稲田貝塚の現場に作業員が入って発掘作業を開始しています。今年度の予算も昨年度と同様1300万円となっております。

NO. 20、文化財保存活用事業です。昨年度は旧古牧温泉から民具を移送したので予算が514万4千円となっておりますが、全て民具を六川目団体活動センターへ運び終わり、プレート等も付けまして、今年度は機械警備のみの予算となっております。違う予算も欲しかったのですが、機械警備のみの予算となりました。

NO. 21、学校支援推進活動事業でございます。平成29年9月からスタートいたしました三沢版コミュニティースクールの中の地域学校協働活動事業ということで、市内小中学校12校に地域コーディネーター12名分の予算を計上しております。171万5千円はほぼ

謝金でございます。今年度も昨年以上に学校や地域とのかかわりを深めて進めて参りたいと考えております。生涯学習課は以上です。

■学校給食センター

学校給食センターの予算についてご説明いたします。

NO. 22の学校給食センター運営費であります。本年は実施予定日を202日、予定総食数を71万75食で設定しております。その結果、1882万8千円減の3億3808万2千円となっております。

NO. 23の学校給食センター整備事業であります。衛生管理及び異物混入防止対策等のため、監視カメラ設置に係る予算要求を行いました。0査定となったところであります。以上であります。

■富田教育長

ありがとうございます。

それでは、部長を始め各課長からのご説明いただきましたことについて、委員の皆さんからご質問等ございますか。

■立花委員

学務課からの説明で、今年度の支援員49名の予算がついているのですけれども、先月、お伺いしたところまだ定員に達していないということでしたが、その後、どのようになっていますか。

■学務課長

先月の説明からまだ募集をしておりません。4月の下旬に再募集をして、そこで採用できれば5月の上旬には各学校へ配置できるのではないかと考えております。

■富田教育長

その他ありますか。

■黒沢委員

NO. 15のところ、WISCIVにむけて準備を進めて行くということでしたが、教育支援の検査そのものはWISCIVで行われているということなのでしょうか。

検査員なども研修を全て終えていらっしゃるということなのでしょうか。

■学校教育課長補佐

実際にWISCIVの研修を実施しております。

■黒沢委員

検査そのものもWISCIVで行っているのですか。準備のできていない学校は、WISC IIIのままですか。

■学校教育課長補佐

WISCIVでやっているかどうかにつきましては、私の方からはっきり明言できませんので、WISCIVで進めているという話は聞いていましたので、後ほど、詳しいことが分かりましたらお伝えしたいと思います。

■富田教育長

その他ございますか。

■宮野委員

NO. 6の小中学校営繕事業についてですが、線が引かれているのは、終わったものですか。要求したけど認められなかったものですか。

■教育部長

査定で0となったものでございます。

■宮野委員

そう思って見ていたのですが、残念ということですが、大事だと思うから要求したと思うのです。支障がないと聞くのも変な質問かと思

いますが、我慢するしかないということですか。

■教育部長

当然これは当初予算での計上ですが、経過して行くうちに、どうしても緊急的にやらなければならないとなった場合には、財政当局に予算を付けていただくよう強力に要求して、補正等で対応していくことになると思います。

■宮野委員

そういう含みを持たせつつ、やっていくということですね。

■教育部長

そのとおりであります。

■富田教育長

相沢委員、何かございませんか。

■相沢委員

NO. 21の地域コーディネーターの謝金が12名分ということによろしいですか。

また、その報酬の金額の基準というのがありますか。

■生涯学習課長

各校1名ということで12名となります。基準は1時間当たり1480円の謝金を支払うことにして、昨年9月のスタート時点と変わりなく、付け加えれば、任期が1年で、4月から新たな任期となり推薦をいただいたのが、12校で同じメンバーで地域コーディネーターをやるということで、変わりなく謝金をお支払いするということになります。

■宮野委員

NO. 20ですが、機械警備の費用ということの説明がありましたが、例えば、電気、水道とか、昨年度、公開するような事業をしたわけ

なのですが、今年は、予算からするとそういうことができないということでしょうか。

■生涯学習課長

一般公開については、昨年度も予算をかけておりませんが、移送費に係るトラックの運搬費、説明プレートを付けたりと、そういうものにお金を使っていました。盗難に入られても困りますので機械警備ということで、文化財は六川目が民具、織笠が土器類と、2ヶ所の団体活動センターを機械警備するというので、合わせて350万円の予算であります。一般公開については、今年もやりたいと考えておりますが、平畑の発掘が込み合っており担当の仕事が詰まっておりますが、可能な限りやりたいと考えております。

■宮野委員

予算は少ないが何とかやっていきたいということですか。

■生涯学習課長

予算要求の段階では、例えば、民具について虫を駆除するための燻蒸とか要求はしたのですけれども、費用がかさむということで、断念ということになります。

■富田教育長

補足いたしますと、非常に活用度が高い良い物があるので、生涯学習課長とは学校等に貸出して展示したり活用したりできる様な事をして行こうとか、大事にしていこうという機運を盛り上げて行けば、財政当局の理解も深まって予算も認めてくれるのではないかなと考えています。

その他ございますか。

■黒沢委員

補助事業の中で、防衛省とか各省庁の名前が

書いてありますが、予算額はこの補助金収入も含めての上での予算額となっているのでしょうか。

■教育総務課長

最終的な支出予算総額となっております。

■黒沢委員

補助率というのは、括弧で書いてあるのも100パーセント補助なのででしょうか。

■教育総務課長

事業や省庁により補助率は変わって参ります。

■富田教育長

その他ありますか。

■立花委員

NO. 5の天井落下防止対策事業で、昨年の第五中学校のように卒業式が間に合わなかったということが無いように事前に対処していただければと思います。

■教育総務課長

大変ご迷惑をおかけした経緯がありますので、今年は事前に調整をして、代替施設の利用とか工事もできる限り早く終わるよう、現在、早ければ9月完了を目指しているところでございます。

■富田教育長

その他ございますか。

■立花委員

給食センターの方ですけれども、予算が減になっていますけれども、これは生徒の減少によるものですか。

■学校給食センター所長

はい。そのとおりでございます。

■立花委員

ちなみに小中で何人ぐらい減少しているのかわかりますか。

■学務課長

30年度3月6日現在の児童生徒数総計が、小学校児童数が2125名、中学校生徒数が1131名です。小学校は昨年度から76名の減、中学校は8名の減、総数82名の減という状況となっております。

■富田教育長

その他ありますでしょうか。

(「なし。」とあり)

ないようですので、平成30年度予算の概要及び事務分掌について終わります。

○日程第6 その他

■富田教育長

次に、その他に移ります。

各課で委員にお知らせする事項等ありますでしょうか。

■生涯学習課長

お手元に平成30年度市民生涯学習講座受講生を募集しますというものがございます。平成29年度まで公会堂で市民講座としてやっておりましたが、休館のため場所を変えて、国際交流教育センターや市民活動ネットワークセンターみさわ「そだなす館」だとか働く婦人の家だとか、そういう場所で公民館事業を実施いたします。17講座を実施いたしまして、年間で延べ350回ぐらい開催する予定となっております。次に平成30年度文化庁伝統文化

親子教室募集のお知らせで、小中学校に募集をかけております。文化庁の補助金を活用して伝統文化の関係の予算が付いております。そのお知らせでございます。もう一つ、三沢市少年少女発明クラブの募集で、これも小中学校へ案内しております。発明クラブはほぼ航空科学館で実施しております。お知らせでございます。

■富田教育長

ありがとうございました。

その他ございますか。

(「なし。」とあり)

ないようですので、その他について終わります。

○日程第7 閉会

■富田教育長

最後に、各委員から何かありますでしょうか。

■宮野委員

県のあいさつ運動をやっているしまして、昨日から一週間、各小中学校をそれぞれの係が回って「おはようございます」とあいさつ運動をやっていることになっています。昨日、三川目小学校に行きましたら、子供を乗せたYナンバーの車が止まりまして、外国の1年生がお入りになったようです。すごくいいことだと思ひ、嬉しいような気持ちになりました。今日はおおぞら小学校に行ったら、「そうらしいですね」と話があって、おおぞら小学校にも話があったけれども三川目小学校に決まったのですねという会話が合ったのです。その経緯をわかる範囲で教えていただきたいと思ひます。普通のお子さんであれば学区とか色々な制約があると思ひますが、外国の子なのでその所はどうなっているのかお伺ひしたい。

■学務課長

あのご家庭は、三沢の基地内におりまして、三沢市内に住所がある方に関しましては通常どおりの学区の学校に入るのですけれども、そのご家庭は、日本の学校に入学させたいということで市内の学校で受け入れてくださる学校を募ったところ、結果的に三川目小学校への入学に至ったということになりました。

■宮野委員

募ったということは、受け入れていただけますかということですか。それで手をあげたのが三川目小学校であったということですか。

■学務課長

様々な学校に事情がありますので、校長先生の対応もありますし、それを確認しながら、結果的に三川目小学校に入学することになりました。

■宮野委員

そうしますと、お父さん、お母さんはどちらもアメリカの方で言葉はどうなのですか。

■学務課長

お子さんはカトリック幼稚園に通っていて日本語はきちんとできます。ご両親は日本語で十分な会話ができない状況です。

■宮野委員

とてもいいことだと私は思っています。

■富田教育長

補足します。基地内に住所がある方で日本の学校へ入学したいという方は、基地に近い学校を希望することが多いのですが、そうしますと特定の学校に集まってしまうので、プラスの面もありますが弊害も少なからずあるということで、ある程度、分散するような方法も取って

います。もう一つは、基地の中に住んでいる方が、日本の学校へ入学する、在籍する場合には、教育委員会で協議をして、例えば、学校からの配布する文書等についてしっかりと理解をしていただけるような、支援していただけるような方がいるのかどうかとか、送り迎えの部分で安全にやっていただけるのかなど、担当課、学校も交えてなのですが協議をして良い環境で子供たちがスタートできるようにしているはずでございます。

その他ございますか。

■相沢委員

確認ですが、中学校でも小学校でも登校、下校の時、昼休みとかは玄関の鍵は空いていて行き来はできると思いますが、それ以外の時間は鍵はかけられている、また、来賓用の玄関もオートロックになりますが、市内小中学校全体としてこういう時は鍵をかけるとか、こういう時は開けるとか、決めていることがあるのでしょうか。それぞれの学校で対応しているのでしょうか。

■学校教育課長補佐

私が存じ上げているところでは、学校それぞれの対応できちんとしたルールを私どもの方でこうして下さいというお話はしていないと認識しております。

■富田教育長

この間まで三沢市の学校にいた人間は私だけなので補足いたしますが、教育委員会の方からは、必ずこのようにしていただきたいという細かい指示や確認は、私がいた頃には無かったと承知しております。ただ、多くの学校では、時間を決めて、例えば朝7時15分で開けて8時15分から8時半ぐらいになって、少し遅れてきた子が入った段階で、木崎野小学校では技能主事が施錠をする。休み時間になれば当然開

けますが、昼休みも、子供たちの掃除が終われば技能主事さんが確認をするとか、教頭先生が確認するとかというのが大まかな原則はあります。運動会やマラソン大会が近くなったりすれば開いたままになっている場合もあります。一応、細かい部分はそれぞれの学校で管理してやっていることが多いかと思います。

その他ございますか。

(「なし。」と呼ぶものあり)

ないようですので、以上で、日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、4月定例教育委員会閉会いたします。

なお、この後、15時から本館大会議室において教育委員会と校長会との合同会議を開催いたしますのでよろしく願いいたします。

閉会 14時37分

■会議録署名者

教育委員 宮野楠見

教育委員 相沢靖恵

書記 種市剛大